



A Program of Lions  
Clubs International  
Foundation

# ライオンズクエストプログラム 「思春期のライフスキル教育」

Lions Quest Program  
Skills for Adolescence

世界の青少年には、生きるためのスキルが必要だから。

高知とさみずきライオンズクラブ

# ライオンズクエストプログラム



## 成長期への対応 Skills for Growing

「成長期への対応」は、テーマ別の単元を通して学習を高め、伸ばせるような学級づくりを促進します。小学生向けのこのプログラムは、正しい決断をすることや、自分に対する健全な自信を持つことを子どもたちに教えるテーマ単元が含まれます。

## 思春期への対応 Skills for Adolescence

三つのライオンズ・プログラムの中でも、世界で最も広く利用されている「思春期への対応」は、思春期の青少年が体験する身体的、精神的、そして社会的変化へ対応していけるように、中学生とその保護者、教師を助けるものです。このプログラムは、前向きな社会的態度、他者への敬意、責任感を育てることで青少年の能力を育むと同時に、青少年を健全な選択と薬物や暴力のないライフスタイルへ導く強力な非行防止ツールとして効果を発揮します。

## 飛躍への対応 Skills for Action

「飛躍への対応」は、ユニークな高校生用カリキュラムで、個人的・社会的・思考的スキルの向上とサービスマーケティング（地域奉仕を通しての体験学習活動）を組み合わせることにより、青少年の自信と忍耐力を養い、学校とのつながりを持たせ、現実的な問題と取り組むと同時に、「21世紀の労働スキル」を学ぶことができるよう青少年を助けます。プログラムは柔軟に構成されており、幅広い環境において価値あるカリキュラムを提供します。

## ライオンズクエストとは

ライオンズクエストとは、世界 50 カ国以上で実施されている、ライオンズクラブ国際財団 (LCIF) のライフスキルプログラムです。ライオンズクエスト・プログラムでは、青少年が毎日を健全に過ごすため必要となるスキルを教えます。こうしたスキルには以下のようなものがあります。

- 責任を取ることを学ぶ
- 効果的にコミュニケーションを取る
- 目標設定
- 正しい判断をする
- アルコールや薬物乱用への誘惑に打ち勝つ

ライオンズクエスト・プログラムは、

- 教員には研究に裏打ちされた質の高い教材を、生徒には年齢に合った教材を提供します。
- 良い人間関係を構築・強化するために、必要なスキルを学び、実践する機会を生徒に与えます。
- 若者の健全な成長のため、家庭や地域と協力します。

## 「思春期のライフスキル教育プログラム」とは…

腹が立ったり落ち込んだりしたとき、気持ちをうまくつたえれないとき、友達と意見が合わないとき、良くない誘いを受けたとき、将来どうしようか悩んだとき…そんなときに役に立つのがライフスキル。このプログラムでは、子どもたちが誰も経験する日常の困難を乗り越え、友人や家族とのより良い関係を築き、自分らしく生きていくために必要なライフスキルを体系的に学びます。またスキルの学習を通して、自分を大切に思う気持ち（自尊心）を高めることを支援します。

「ライフスキルの学習を通して身につけたい9つの価値観」



## 一流のプログラム

ノルウェー教育・研究省が 30 種類のライフスキル・プログラムを評価した結果、ライオンズクエストが児童の社会的・情動的ニーズに対する効果が立証された 10 のプログラムのうちのひとつとなりました。

ピーター・ベンソン博士 Search Institute 会長

「プログラムを完全に実施すれば、健全な青少年の育成に必要な 40 の要素のうち、実に 30 の要素を取り上げることができます。」

## 専門能力の育成

カナダやフィンランドでは、ライオンズクエスト・プログラムが大学や大学院での教育研修用カリキュラムの一部として将来の教育者の養成に役立っています。

## 文化的適応

ライオンズクエスト・プログラムは地域のニーズに根ざして導入することができます。例えばロシアでは、ライオンズクエストが多くの児童養護施設やリハビリテーションセンターで実施されています。インドでは、ストリートチルドレンの教育にプログラムが活用されています。またドイツでは、移民問題への対処にカリキュラムが適用されました。

## 政府の参加

ベリーズでは、教育省の職員がライオンズクエスト講師を務めています。これにより、プログラムの実施費用が削減され、より迅速にプログラムを拡大することができます。



## ライオンズがライオンズクエストを実施する理由とは

ライオンズクエストは世界最良の、かつ最も広範に実施されているライフスキル・プログラムの一つです。保護者と学校、そして地域社会のリーダーであるライオンズとの強固な協力がプログラムの成功には不可欠です。ライオンズがライオンズクエストに個人的に参加できる機会があります。

- ご自分の地域社会でのライオンズクエスト実施を支援する運営委員会に参加する
- 教員研修や学生用教材を経済的に支援する
- 教員研修時に交通手段や宿泊、食事を提供する
- ライオンズクエスト教室と地域奉仕プロジェクトを統合して調整する
- ライオンズクエスト教員と生徒の優れた取り組みを表彰する



# Lions Quest プログラムの生い立ち

「Quest」とは

「追求する、探求する」の意味。  
プログラムを立ち上げた(財)クエスト  
インターナショナルの名前を取っている。



ライオンズクラブ国際協会

1984年 クエストとパートナーシップを  
組み資金提供

1998年 LCIF (ライオンズクラブ国際財団)  
クエストと提携

1999年 LCIF 4大交付金事業に指定

2002年 LCIF クエストプログラムを  
買い取る



人生で直面する困難にどのように対処す  
ればよいか、誰も教えてくれなかった。  
アメリカの大学生 リック・リトル

学校では学業以外に生きる上で、必要となる力「ライ  
フスキル」を教える必要がある。

1977年

クエストプログラム  
「ライフスキル教育」実施・作成  
(財)クエスト・インターナショナル

国際青少年育成財団 (IYF)

世界80ヶ国で実施・36ヶ国語に翻訳

## ライオンズクエストプログラム

「成長期への対応」 5～9 歳

「思春期への対応」 10～14 歳

「飛躍への対応」 14～18 歳



日本ライオンズクラブ

2000年 330 複合地区 LCIF 4大交付金取得 日本語教材・講師養成に着手  
「思春期のライフスキル教育」中学生用プログラムを日本語に翻訳

日本の教育のニーズにあったプログラムに再編集→埼玉のモデル校で使用  
その後、全国に普及

# ワークショップから始まる

## ワークショップから始まるライフスキル教育

### ワークショップの内容

- プログラムの体験
- 概要の理解
- 実施時のポイント把握
- 参加者による模擬授業

### プログラムのサポート

- ワークショップ（2日間の研修会）
- フォローアップワークショップ
- 体験会（プログラムの説明・模擬授業）
- 学校支援
- 資料送付

Lions Quest「思春期のライフスキル教育」プログラムの普及活動を行う。



JIYD ジャイド

Japan Initiative for Youth Development

特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム

## 各ライオンズクラブや地区での取り組み例

1. ライオンズクエストについての理解
2. ライオンズクエスト特別委員会の設置 長期プランの作成・予算化
3. 体験会の実施
4. ワークショップ参加支援 ワークショップ実施
5. 学校ワークショップ実施
6. フォローアップワークショップ実施

## 十代のみんな、思春期へGO！

単元1

- 授業1 オリエンテーションと名前の学習
- 授業2 学級の基本ルールづくり
- 授業3 相手を傷つける言動、励ます言動
- 授業4 自分を知る、仲間を知る（1）
- 授業5 自分を知る、仲間を知る（2）

- 授業6a 自分を知る、仲間を知る（3）
- 授業6b 自分を知る、仲間を知る（3）
- 授業7 成長発達と心身の変化
- 授業8 好ましい価値観は道しるべ
- 授業9 思春期の理解

## 本当の自信とコミュニケーションスキルの形成

単元2

- 授業1 本当の自信をつける方法
- 授業2 好ましい経験や能力・技術と自信の形成
- 授業3 好ましい経験や能力・技能と自信の形成
- 授業4 聞いてる？
- 授業5 上手な話の聞き方

- 授業6 賞賛の気持ちを表現する
- 授業7 責任をもつようになる方法を学ぶ
- 授業8 適切な意志決定ができるようになる

## サービスラーニング

サービスラーニング

- 授業1 準備—ニーズを確認する
- 授業2 準備—活動を決定する
- 授業3 準備—活動の計画を立てる
- 授業4 実行—活動を実行する
- 授業5 振り返り、発表し、称えあう

## 心の成長と感情のコントロール

単元3

- 授業1 「感情」について考える
- 授業2 言動が他者に与える影響
- 授業3 谷底から頂上へ（1）
- 授業4 谷底から頂上へ（2）
- 授業5 怒りを鎮めて冷静に考える（1）

- 授業6 怒りを鎮めて冷静に考える（2）
- 授業7 メッセージを使って感情を伝える
- 授業8 ストレスについて考える
- 授業9 感情をコントロールして意志決定する
- 授業10 新しいサービスラーニング活動の決定・計画

## 友人関係の改善

単元4

- 授業1 友情を築く
- 授業2 求む！友人
- 授業3 友情の輪を広げる
- 授業4 威圧的な行動に対応する
- 授業5 友人の選び方

- 授業6 圧力—内から出てくるもの
- 授業7 自己主張する
- 授業8 ASK
- 授業9 問題解決スキル
- 授業10 サービスラーニング活動の継続

## 家族の絆の強化

単元5

- 授業1 家族の絆
- 授業2 昔の家族
- 授業3 ルーツと翼・家族の象徴
- 授業4 スキルを家庭で活用する（1）
- 授業5 スキルを家庭で活用する（2）

- 授業6 あなたと家族
- 授業7 家族の宝
- 授業8 サービスラーニング活動の継続

## 健康への道を選ぼう

単元6

- 授業1 前を見つめて
- 授業2 他者からの影響について考える
- 授業3 若者がタバコに誘惑される理由
- 授業4 タバコ：なぜ吸い始めるの？
- 授業5 アルコール：本当のこと、そうでないこと

- 授業6 若者にアルコールを飲ませるのは誰か
- 授業7 タバコとアルコールの広告を見抜く
- 授業8 マリファナ：若者への影響を考える
- 授業9 薬物使用への圧力を検証する
- 授業10 薬物使用への圧力に立ち向かう

## 人生の道のり

単元7

- 授業1 展望
- 授業2 良いモデル
- 授業3 成功の秘訣
- 授業4 目標達成に向かえ！（1）
- 授業5 目標達成に向かえ！（2）

- 授業6 立ち向かうためには：  
努力、困難を乗り越える、再スタート
- 授業7 今後20年間の私
- 授業8 サービスラーニング活動を振り返り、  
発表し、称えあう

## 可能性の追求

まとめ

- 授業1 思い出をありがとう
- 授業2 みんな頑張ったね！サイコー！
- 授業3 サービスラーニングの成功を祝う
- 授業4+5 スクラップブックの発表をしよう！

抽象的な講義を聞くのではなく、  
役立つスキルが具体的に示さ  
子どもを授業に惹きつけます

授業10 目標設定

2年次：授業1 私たちを結ぶ紐

2年次：授業2 協力への鍵

3年次：授業1 バウンスゲーム

3年次：授業2 権利と責任

「思春期のライフスキル教育」プログラム

## 単元計画表

全9単元 84授業

授業11 ストレスに対処する  
授業12 自由な時間を前向きに使う  
授業13 発表の準備をしよう  
授業14 健康への道を選ぼう  
授業15 サービスラーニング活動の継続

日常で経験しがちな場面で、  
すぐに試せることが、

### 【プログラムで学習するおもなスキル】

- コミュニケーション
- 感情のコントロール
- 意思決定
- 問題解決
- 目標設定
- 仲間からの良くない誘いや薬物使用の  
圧力への対処
- サービスラーニング

Lions Quest「思春期のライフスキル教育」  
プログラムパンフレット(JIYD発行)より



# ワークショップ受講者の声

## 高知県私立中学・高等学校 教諭

「楽しかった！」これが今回の講習に参加させていただいての素直な感想です。「ライフスキル」って何？というところから始まった今回の講習でしたが、わかりやすい解説と実践で、あっという間の2日間でした。

講習の内容はどれも素晴らしいものばかりでしたが、特に初日に先生がおっしゃった「いい雰囲気集団作り」について、まったくできていなかったなあと反省しました。エネジャイザーや授業内でルールを決めるというほんの数分でできる簡単な方法で、生徒も授業に集中でき、そして教師自身も授業がやりやすくなる。これらの方法は、担任を持っていなくても実践のチャンスがあると思うので、ぜひ授業に取り入れてみたいと思います。

また、今回の講習では、自分の勤務する学校外の方とお会いして、たくさんの貴重なお話を聞かせていただきました。模擬授業やグループワークを通して、普段はひとりで作っている授業が、チームを組むことで、新しい発想が生まれたり、良い点悪い点を指摘し合えたりできたことも、大きな収穫になりました。

2日間の講習で得た「知って、練習して、できるようになる」という喜びは、これから先、現場で生徒に伝えていきたいと思います。そのためにも、私自身がもっと深くライフスキルについて勉強し、理解を深めていかなければと感じています。

## 高知県公立中学・高等学校 教諭

どのようなワークショップになるのか、不安と期待の入り交じった気持ちで参加しました。

講師の先生達の落ち着いたやさしい雰囲気でもやかに進行されていました。現場では元気ハツラツと言った状態で教壇に立ちますが、ワークショップを行うときは静かな穏やかな雰囲気をつくるのが良いのではないかと感じました。

実際ワークショップを教師役で体験してみると、プログラムを読むだけでは分からない進捗のちょっとしたコツや小道具などが随所にあるのだと感じました。やはり受講しなければ分からないことが多いと思います。

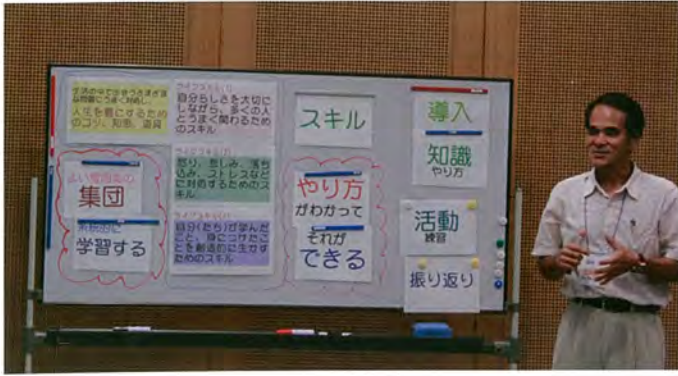
生徒役を体験することによって、実際にどのように生徒が変化していくかを想像することができました。このプログラムを自分の学校に導入した時、生徒がどのように変化するかを体験によって

学ぶことができました。ただ、先生方が多かったので、優秀な生徒役が多かったようにも見えました。実際はもう少しやんちゃな生徒もいるので、そんな生徒になりきってくれる方がいると楽しかったかもしれません。

薬物濫用防止などは近い内容の授業などを今までも行っていましたが、系統だったプログラムとして組まれた今回のライフスキルについて学習をして、より効果的な学習ができるのではないかと感じました。系統的に学ぶことで効率的に無駄なく学習することができ、このプログラムの導入を考えた時、時間のやりくりにも苦労する場面も少なくなるのではと思います。

数年後、また、心と頭が錆び付いてきたらワークショップを受けたいと思います。





## 高知県私立中学・高等学校 教諭

学校経営、教科指導、そして保護者との関わり、日々の業務に向かうにあたって、こんな場合はどのように対応すればよいのか、難題に直面することが多々ある。そんな場面で活用できる知識や手段が、今回のプログラムの中に多数ちりばめられていた。その中で、私自身が改めて大切だと感じた2点について、まとめてみたいと思う。

まず第1に、「良い雰囲気作り」である。1人で考えつく答えは限られているが、2人、3人と人数が増えていくと、いろんな発想があり、そんな答えがあるもんだと驚くと同時に、集団の中で自分の意見を受け入れてもらえたときには「うれしさ」を感じる。大人に属している私自身がこんな感情を持つのであるから、感受性豊かな子どもたちは「良い雰囲気の集団」の中で、お互いの考えを認め合うことができたならば、限りない可能性を引き出す力になるだろうと感じた。

第2に、「活動を伴うプログラム」の重要性である。通常、学校での授業は教師は教壇に立ち、

子どもたちは机に向かい、講義を聴いてノートを作成する。それを理解、暗記してテストに向かう。この2日間は、これと全く同じ講義形式であったとしたら、受け身のままで、ただ時間が長く感じられ、ここまでの充実感は得られなかったと思う。一定時間の中で、自分たちで考え活動し、授業などを作りあげ発表する。緊張と責任を感じながら、やり終えたときの満足感。これを是非、これからの実践で子どもたちに伝えていきたい。その行動力こそ、社会に出てから生きる力となるのではないだろうか。

これまでを振り返り、教師として「教科を理解させること＝点数を取らせること」に重点を置きすぎていたと反省し、「学力」のあんこだけではなく、「+a」=ライフスキルの皮づくりにも力を注いで行きたいと思う。

2日間の受講で、当然全てが理解できた訳ではなく、今がスタートである。まずは所属する学年団に紹介し、共感し、実践していきたいと思っている。



## 富山県富山市立大泉中学校

学校あげて人間関係・学級づくり

プログラム実施開始：H19年4月～

実施時間枠	総合的な学習の時間
実施時間数	1年生(2クラス)：35時間 2年生(1クラス)：20時間 3年生(2クラス)：20時間

人間関係づくり、学級・学年づくりのためにプログラムを実施しています。

富山市が学校選択制を採用し、これまでの学区以外の小学校からも少人数で子どもが入学すること、より特色のある学級づくりをめざしていたことから、実施に至りました。

### 実施の特徴や工夫

- ☺ 4月に集中して学級づくり、学年づくり。特に1年生は、年間35時間のうち16時間を4月中に、残りを5月以降に隔週1～2時間のペースで実施。
- ☺ 修学旅行、体育大会などの学校行事と関連させることで、時間を確保。



### 先生方の感想・子どもの変化

今年度の卒業生は1年の時からライフスキルを受けてきたからか、部活や体育大会などで下の学年へのプラスの言葉かけが多かったように思います。

また、ライフスキルの授業では先生と生徒がともに活動し触れ合うため、先生と生徒の距離は縮まったと思います。



生徒に相手のことを考える余裕ができ、人間関係のトラブルが少なくなりました。

## 兵庫県神戸市立長坂中学校

1学年で実施：話し合いの姿勢を作る

プログラム実施開始：H20年9月～

実施時間枠	総合的な学習の時間
実施時間数	1年生(8クラス)：10時間 2年生(8クラス)：－ 3年生(8クラス)：－

今年度は1年生のみ、人権学習の一環としておもに総合の時間で取り入れています。ライフスキルを学年目標と関連づけ、自尊感情を高めたり、話し合いの姿勢を作るために取り組んでいます。この学年が2年生、3年生になってもライフスキルの授業は続けていく予定です。

### 実施の特徴や工夫

- ☺ マンモス校で学校全体で新しいことを始めるのは難しいため、学年単位で取り組んでいる



### 先生方の感想・子どもの変化

- ☺ 班活動が活発になった。自分の意見を言ったり他の子どもの意見を聞く姿を見るようになった。
- ☺ 授業では教師が決めた方向性に沿うばかりではなく、子どもから働きかけや意外な反応があり手ごたえを感じている。
- ☺ 学校で新しい取り組みが市民権を得るには時間がかかる。まずはやって見せることで、他学年にも広がりつつある。

## 三重県伊賀市立緑ヶ丘中学校

プログラム実施開始：H20年4月～

### キャリア教育の一環として： 地域ぐるみで生きる力を身に付ける

実施時間枠	総合的な学習の時間・その他
実施時間数	1年生(6クラス)：8時間 2年生(5クラス)：4時間 3年生(5クラス)：2時間

もともと教育委員会でライフスキル教育推進に携わっていた校長先生の着任に伴い導入。キャリア教育推進計画の柱の一つとしてライフスキル教育を位置づけ、自尊感情やコミュニケーションスキルなどの生きる力を身に付けるようにしています。

#### 実施の特徴や工夫

- ☺ 導入初年度は、研究主題としてライフスキル教育に優先的に取り組んだ。
- ☺ 保護者・地域のライオンズクラブに授業公開。学校の取り組みを知ってもらう。
- ☺ ライオンズクラブに職場体験の場を提供してもらい、そこで人との関係づくりも身に付けさせる。



#### 先生方の感想・子どもの変化

子どもは将来社会に出ていくので、地域で取り組むことが必要。「昔はこんなことを先生が教えなくてもよかったのに」といった意見もありますが、学校がリーダーシップをとることが大切だと思います。  
(校長先生)



相手を大事にすること、生き方を変えること、目標を持つことが、学力にも表れてきます。

困難なことに直面しても解決できるような生徒に変わってきています。

## 栃木県葛生市立葛生南小学校

プログラム実施開始：H22年1月～

実施時間枠	総合的な学習の時間・特別活動
実施時間数	1年生(1クラス)：2時間 2年生(1クラス)：2時間 3年生(1クラス)：0時間 4年生(1クラス)：2時間 5年生(1クラス)：3時間 6年生(1クラス)：3時間

学級集団作りとして活用したい、児童の自尊感情を高めたい、コミュニケーションや人とのかかわり方を学ばせたいという思いでこのプログラムを実施しました。

#### 実施の特徴や工夫

- ☺ 最初の校内型WSでは全教職員とPTAの役員が受講し、実施開始。
- ☺ 最初は高学年のみの予定でしたが、2年生の校外学習の事前の話し合いにプレーンストーンミングを取り入れたところ、子どもたちの反応もよく、今では低学年も積極的に実施。



## 京都翔英高等学校

プログラム実施開始：H19年4月～

実施時間枠	特別活動
実施時間数	1年生(6クラス)：19時間 2年生(6クラス)：23時間 3年生(5クラス)：18時間

「楽しい学校・クラス作り」を目指して、対人関係のスキルを中心にロングホームルームの時間に取り組んでいます。

#### 先生方の感想・子どもの変化

- ☺ 毎年とる生徒へのアンケートで、「遅刻や欠席が減った」、「親との会話が増えた」といった回答が多い。
- ☺ 人間関係で何かあるとすぐ休むのではなく、教員、親、友人に相談することが増えた。
- ☺ 服装が良くなり、地域の方々から褒めていただくこともあった。
- ☺ 退学者や不登校がかなり減った。以前、不登校はクラスに2～3人いるのが当たり前だったが、今はほとんどいなくなった。

# ライフスキル教育プログラム小学生版導入！！

2013年夏、日本のライオンズクエストプログラムに、これまでの「思春期版」に加え、「小学生版」が導入されます。プログラムの基礎となる理念や考え方は思春期版と同様。家庭と学校が手を結び、力をあわせて子どもたちを育てるためのもの。つまり、ライフスキル学習を通して、子どもたちの責任感、自律心、正しい判断力、そして仲間との協力など、生涯役立つ生きる力、行動する力を育てることを目指しています。



主な対象：小学校1年生～5年生

冊子：各学年別の教材(単元1～単元5+サービスラーニングを収録)

各学年各単元に対応したワークシート集

CD-ROM(全学年全単元のワークシート全ページを収録)

概要書

保護者会運営手引書

**その1：早期からの学習で、ライフスキルが身につくやすい！**

**その2：小学生のうちから身につけておきたい力がある！**

**その3：基本的なライフスキルを身につける教材として中学生以上にも有効！**

卓球にたとえてみると・・・

小学校から卓球をやっていた選手はフォームがきれい！それは、基礎体力が未熟な小学生は力に頼らず、きれいなフォームでラケットの芯にしっかり当てて打たないと玉が飛ばないから。このように、卓球に限らず、スポーツ全般において、小さいときに基礎になるトレーニングをきちんと積んでおけば、中学生、高校生、大人になって大いに役立つのと同じように、小学生でのライフスキル学習が一生の基礎になります。グループ活動のやり方、友だちや自分のよさを見つける、よい大人と関わる、何よりも成功体験をつみ自信をつけ、目標に対して前向きなイメージをもつということ、感受性が最も高く、信頼感や仲間意識が育つ小学生で学ぶと、より効果的に身につきます！

また、中学生の選手がうまく打てないときにフォームの指導から行うように、日常生活に課題がある中学生に基本的なライフスキルを指導する教材としても小学生版は有効です。



## 特 徴

**その4：家庭と学校を結ぶ充実したワークブック！**

小学生版の教材は、各学年各単元に対応したワークブックが用意されています。このワークブックは、家庭と学校、子どもたちと保護者を結ぶように構成され、家庭で楽しくライフスキルについて話し合い、実践する場面が多く含まれています。例えば、休日の家族での過ごし方、家での手伝い、家族のルールをつくるなどです。また、子育ての参考資料にもなり、各ワークブックには必ず「子育てのヒント」というページがあります。年齢にあった、そのとき子どもたちが学んでいるライフスキルに合った子どもたちとの接し方や遊び方が紹介されています。

**その5：さまざまな教科での活用が可能！**

思春期版同様、小学生版教材もさまざまな教科での活用が可能です。例えば、賞賛の気持ちを表すカードづくり＝図工、家族を紹介する＝家庭科、仲間を知る活動(皆の身長や兄弟姉妹の数を足したりする)＝算数など、活用方法は多様です。ライフスキルの時間だけでなく、さまざまな教科でも活用することはライフスキルを身につけるのに有効です。



<お問い合わせ> 特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム(JIYD)

〒108-0074 港区高輪 4-10-63-302 tel:03-3440-3373/ fax:03-3440-4447/ mail:info@jiyd.org/ URL:<http://www.jiyd.org/>



各学年に以下6つのカテゴリを全て収録！同じ単元でも、低学年のほうがよりわかりやすくなっています。学年が上がるにつれて、少しずつ内容が深くなっていきます。



## 単元概要

### 単元 1

#### みんなはこのかっこうのなかまだよ

学校／学級をよい雰囲気の集団にすることは、子どもたちが自らを集団の一員として大切に価値ある存在であると認識するために重要。子どもたちの行動に焦点を当て、自信と責任感を育てる。



### 単元 2

#### なかまとともにおおきくならう

よい集団の中で仲間とともに育つことは、子どもたちがさまざまな活動を通して協力や共有することの大切さを学び、実践できる力を身につける上で、効果的。グループ活動を通して、コミュニケーション能力を形成・強化する。

### 単元 4

#### やくぶつにかかわらないで大きくなろう

薬物は社会がもつ“病気の1つ”。子どもたちは自分の健康を大切に、よく分からないもの、あるいは危険とわかっているものに手を出さないことがなぜ重要なのかを学習する。

### 単元 3

#### 正しい「けっせい」をする力を育てる

正しい情報に基づき適切な意志決定をすることは、人生を積極的に生きるための重要な能力。毎日の生活の中で注意深く、よく考えて決定をすることがなぜ重要なのか、子ども自身が学べるよう構成している。

### 単元 5

#### あなたとわたしをたたえよう

子どもたちが、自分やクラスの仲間が身につけているいろいろなスキルや能力を認め合い、互いにそれらをたたえることができるようになるためのもの。他者を尊重し、自らを信じ大切にすることを育てる。

### サービスラーニング

サービスとは、他者のために何かをするということ。将来の積極的な社会参画をめざし、学んだこと、身に付けた力を他者(社会)のために生かすスキルを体験を通して学ぶ。



## さあ、ワークショップへ！

ライオンズクエストプログラムの教材は、ワークショップ修了者のみにお渡しします(思春期版・小学生版共通)。実際に教育現場で実施するためには、ワークショップの受講が必要です。ワークショップでは、会場を教室と見立て、受講者が時には子ども役でプログラムを体験、時には先生役でプログラムを実践し、ライオンズクエストプログラムの理念や考え方、手法を学んでいきます。ワークショップの内容は思春期版・小学生版の教材を問わずに同一です。ワークショップ修了者は思春期版・小学生版どちらかの教材一式をお渡ししますので、ワークショップお申込み時に、思春期版・小学生版の教材希望を選択してください。

# さっそくあなたも検索！



## Lions Clubs International FOUNDATION

ライオンズクラブ国際財団

300 W. 22nd Street, Oak Brook, IL 60523-8842 USA

E-mail [lcif@lionsclubs.org](mailto:lcif@lionsclubs.org)

URL [www.lionsclubs.org/JA/lci-foundation/index.php](http://www.lionsclubs.org/JA/lci-foundation/index.php)



ライオンズクラブ国際財団 ライオンズクエスト課

300 W. 22nd Street, Oak Brook, IL 60523-8842 USA

Oak Brook, IL 60523-8842 USA

TEL 630-571-5466

E-mail [info@lions-quest.org](mailto:info@lions-quest.org)

URL [www.lions-quest.org](http://www.lions-quest.org)



ライオンズクラブ国際協会 日本事務所

〒141-0031

東京都品川区五反田 7-22-17

TOCビル 10階 31号

TEL 03-3494-2931

FAX 03-3494-2933



特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム (JIYD)  
(ライオンズクエスト プログラム 普及事務局)

〒108-0074

東京都港区高輪 4-10-63-302

TEL 03-3440-4486

FAX 03-3440-4447

E-mail [info@JIYD.org](mailto:info@JIYD.org)

URL <http://www.JIYD.org>



高知とさみずきライオンズクラブ

〒780-0825

高知市農人町 5-29 サウスブリーズホテル内

TEL/FAX 088-883-7170

E-mail [tosamizuki@poem.ocn.ne.jp](mailto:tosamizuki@poem.ocn.ne.jp)

ライオンズクエストプログラムとは、「人生で直面する困難にどのように対処すれば良いのか、誰も教えてくれなかった」約 40 年前のアメリカの大学生リック・リトルさんのこの思いを解決するために作られた教育プログラムです。

教育・心理学など、多くの専門家の協力のもと、コミュニケーションや感情のコントロールなど、青少年が日々経験する困難を建設的に解決し、よりよく『生きる力』(ライフスキル) を学び、身につける教育プログラムになっています。

2002 年には LCIF(ライオンズ国際財団)が「クエストプログラム」を買い取り、「ライオンズクエストプログラム」として、世界 66 カ国で導入され、成果を上げています。ライオンズクラブの国際協会は、全世界のライオンズに対して、青少年健全育成活動のうち最優先すべき活動が「ライオンズクエストプログラム」の普及であるとの方針を打ち出しています。

学校でのいじめ、不登校、自殺、親や友人への殺傷事件、薬物乱用などが増え続ける現状を見ると、今まさにこのプログラムを早急に学校に紹介し、子供達に届けなければならないと思います。

高知とさみずきライオンズクラブ



日本の青少年にも、生きるためのスキルが必要だから。



ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区 6R-1Z  
高知とさみずきライオンズクラブ

〒780-0825

高知市農人町 5-29 サウスブリーズホテル内

TEL/FAX (088)883-7170

E-mail [tosamizuki@poem.ocn.ne.jp](mailto:tosamizuki@poem.ocn.ne.jp)